


第201回 都市懇サロン レポート	住民参画によるまちづくりの実践～つくばにおけるまち育て事業モデル～		
講 師	一財団法人つくば都市交通センター理事長 伊藤 節治さん	開 催 日	平成28年5月24日(火) 18:00~19:40
講 師 プロフィール	昭和49年 日本住宅公団(当時)入社 平成17年 (独)都市再生機構東京都心副 支社長 平成20年 同埼玉地域支社長 平成22年 (一財)つくば都市交通センター 理事長		
お話の概要	<p>●葛城地区のまちづくりについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 葛城地区住みよいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ヴィジョンを住民と共有し、市民協働によって持続的なまちづくりを行っている。 ヴィジョンの構成 <ol style="list-style-type: none"> ①コアヴィジョン <ul style="list-style-type: none"> ・葛城地区の地域資源を活かし、新旧の文化・余暇活動・健康なライフスタイル等が持続的に享受できるコミュニティづくり ②6つのポイント <ul style="list-style-type: none"> 「市民協働のまちづくり」、「健康的なライフスタイルの実現」、「環境配慮への取り組み」、「歴史文化・地域資産の評価、活用」、「景観の向上」、「まちづくりヴィジョンの共有化」 ③葛城三原則 <ul style="list-style-type: none"> 「できることから始めよう」、「新たなテーマを発掘しよう」、「まちづくりヴィジョンを共有化しよう」 ④目標を達成するための仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体の誕生を促す ・活動団体の自立を支援する ・まちづくりプラットフォームを設置 ・活動資金等 葛城地区での主な住民協働事例 <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンの会 センター地区美化(民有地にコミュニティガーデン設置等) ・ポンパドールプロジェクト(ガーデナーの指導による花壇づくり等) ・アイビスホームコンテナづくり(店前へのコンテナ設置等) ・タウンの会 音楽による賑わいづくり(音楽家を巻き込んだ音楽祭等) ・カルチャーの会(歴史サロン、自慢マップの作成等) 		
意見交換 の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働の活動を持続させようとするとは必ず資金源をどのように確保していくかが課題となる。資金源の確保においては行政の介入が絶対必要。場合によっては行政から公益法人等に働きかける必要がある。 ・音楽祭の活動資金については財団からの100万の寄付や企業からの協賛金で賄っている。ホールの使用料は高いので、無料にしてもらえるように交渉はしている。 ・グリーンネックレスの会の年齢構成は20/30人が65歳以上、10/30人が50歳以下(30歳代も3,4人いる)で新住民の方が多い。 ・高齢者ばかりで停滞しているエリマネ団体を成長させるためには、新しい人を入れることが重要だろう。 		
記録者の ひとこと	市民協働を進めていく上では、様々な主体との効率的な連携が必要だと感じた。一方で、地域のポテンシャルによっては活動に係る資金が潤沢にない場合もあるため、その場合どのように市民協働を図っていくかは課題だと感じた。《市浦ハウジング & プランニング 増田亜斗夢》		